

平成 18 年度 大学院入学者選抜試験問題 (第 1 次)

専門科目

経済政策・経済史・経営各論・会計分野

以下の問 1～問 5 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済政策) 特殊法人改革について論じなさい。

問 2 (経済政策) 次の (1)、(2) いずれか 1 題を選択して、解答しなさい。

(1) これからの望ましい食料政策のあり方について、次の 1～3 の内容のうち二つ以上を踏まえながら論じなさい。(解答は、世界的なレベルでの食料政策でも、日本に限定したレベルでの食料政策でも、どちらでもよい。)

- 1 経済財としてみた場合の食料の特性
- 2 国際的にみた食料需給の動向、とりわけ W T O 加盟後の中国における食料事情
- 3 日本をはじめとする主要先進諸国における食料自給率の推移

(2) 日本における望ましい農業経営政策のあり方について、次の 1～3 の内容のうち二つ以上を踏まえながら論じなさい。

- 1 一般の企業経営と比較した場合の農業経営の特性
- 2 農業経営形態の多様化、とりわけ農業経営の法人化問題と株式会社による農地取得問題
- 3 行政や関係機関等による農業経営支援のあり方

問 3 (経済史) 戦後東アジア経済成長史について説明せよ。

問4 (経営各論) 以下の(1)、(2)、(3)のうちいずれか1題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の企業をとりまく環境状況を踏まえて、望ましい企業の条件にはどのようなものがあるか。たとえば、環境問題での貢献や広く社会貢献への取り組み、あるいは公正な取引や公明正大な企業経営、その基礎としての規律ある統治構造の確立、働くものの意欲を惹き出せること、雇用の維持確保、持続的な成長力、何よりしっかりした業績など、いろいろなことがあげられるであろう。ここでは望ましい企業や「よい会社」を考える上で、必ずしも特定のアプローチに立つことを要求するものではない。しかし、企業本来の役割と企業に要請される今日的な内容の関係を考慮して回答することは望ましい。ともあれ、回答者が考える上でもっとも適切と思う角度から、今日的に見た「よい会社(望ましき企業)」の条件について述べよ。
- (2) 今新しく事業を始めるとする。その場合、考慮すべきこと、検討すべきことにはどのようなことがあるか、説明せよ。
- (3) 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方には、どのようなことが要請されているか。また、企業側においては、これを受けてどのような方策がとられているか、自らの知るところや考えを述べよ。

問5 (会計学) 原価主義、時価主義、低価主義を比較論評しなさい。できれば最近の日本の制度会計における時価主義導入の動向にも触れること。